

北海道阿寒高等学校

本校の概要

昭和 25 年（1950 年）に標茶農業高等学校雄別分校として開校し、昭和 28 年（1953 年）に北海道阿寒高等学校となりました。全日制普通科の道立高校です。

小規模校ではありますが、「一人ひとりを大切に」きめ細かな少人数教育を実践しています。ティーム・ティーチングや少人数授業、研究開発



学校としての遠隔授業、地域協力校の出張授業などの学習指導はもとより、キャリア教育や教育相談などにおいても生徒一人ひとりに焦点を当てた個別の指導体制に力を入れています。

また、二つの国立公園に隣接する釧路市阿寒町に位置する利点を活かし、本校にしかできない「学び」を探求することを目指して、管内の高校では唯一の「ユネスコスクール」に認証されています。

校訓 「不如学」（まなぶにしかず）

「子曰、吾嘗終日不食、終夜不寝、以思、無益、不如學也」 （「論語 衛霊公篇」より抜粋）

「孔子は言った。『私はかつて一日中食べることを忘れ、一晩中寝ることを忘れて思索にふけたが何も得ることがなかった。やはり書を通じて先人に学ぶのが最善である』と。」（現代語訳）

たとえ寝食を忘れて没頭したとしても、経験や知識の裏づけがない思索に何の意味もない。実際に体験し学んだ経験や知識、教養の積み重ねには遠く及ばないのである。空虚な推論に左右されずに正しい知識を身につけることが肝要である、という意味がこの言葉に込められている。

本校のPTA活動

北海道阿寒高等学校PTAは、地域の特性を活かした本校の特色ある教育活動及び地域の教育振興への協力事業を推進するという方針のもと様々な活動を行っています。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響でほとんどの活動は中止を余儀なくされました。

例年であれば、授業参観の参加促進、地域の特性を活かした学習活動への協力及び援助、広報



誌「阿高の窓」の編集と発行、自然体験活動への協力、学校祭や学校行事と連携した協力活動、阿寒神社例大祭の諸行事における協力活動などを実施しています。

PTAバザーは実施できませんでしたが、今年度は校内の広い会場で 10 月に役員会を実施し来年こそは寒高祭をはじめ様々な教育活動に協力したいと考えています。